

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第1項

**【提出先】** 関東財務局長

**【提出日】** 平成25年11月8日

**【四半期会計期間】** 第41期第3四半期(自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日)

**【会社名】** B - R サーティワン アイスクリーム株式会社

**【英訳名】** B-R 31 ICE CREAM CO.,LTD.

**【代表者の役職氏名】** 代表取締役社長 渡辺 裕明

**【本店の所在の場所】** 東京都品川区上大崎三丁目2番1号

**【電話番号】** 03(3449)0331

**【事務連絡者氏名】** 取締役管理本部長 兼 経営企画室長 門田 浩

**【最寄りの連絡場所】** 東京都品川区上大崎三丁目2番1号

**【電話番号】** 03(3449)0331

**【事務連絡者氏名】** 取締役管理本部長 兼 経営企画室長 門田 浩

**【縦覧に供する場所】** 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次 会計期間	第40期 第3四半期累計期間	第41期 第3四半期累計期間	第40期
	自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日	自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日	自 平成24年1月1日 至 平成24年12月31日
売上高 (千円)	16,042,963	15,981,918	20,783,554
経常利益 (千円)	2,192,750	1,636,678	2,867,143
四半期(当期)純利益 (千円)	1,212,495	937,011	1,578,458
持分法を適用した 場合の投資利益 (千円)			
資本金 (千円)	735,286	735,286	735,286
発行済株式総数 (千株)	9,644	9,644	9,644
純資産額 (千円)	10,535,924	10,993,686	10,929,403
総資産額 (千円)	14,896,648	15,351,156	15,546,926
1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	125.83	97.24	163.81
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)			
1株当たり配当額 (円)	40.00	40.00	90.00
自己資本比率 (%)	70.7	71.6	70.3

回次 会計期間	第40期 第3四半期会計期間	第41期 第3四半期会計期間
	自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日	自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	89.50	71.78

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりませんので、連結会計年度にかかる主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
- 2 売上高には、消費税等は含んでおりません。
- 3 持分法を適用した場合の投資利益は、関連会社がないため、記載しておりません。
- 4 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## 2 【事業の内容】

当第3四半期累計期間において、当社及び当社の関係会社が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社の異動は以下の通りです。

名称	住所	資本金	主な事業内容	議決権の被所有割合 (%)	関係内容
(その他の関係会社) ダンキン ブランズ インターナショナル ホールディングス リ ミテッド	英国 ワーウィックシャー	(ポンド) 100	持株会社	43.32	

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第3四半期累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。

また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等は行われておりません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1)業績の状況

当第3四半期累計期間（平成25年1月～9月）における我が国経済は、ここ数年の厳しい経済環境からは回復基調にあり、平成24年度末の新政権発足後はアベノミクスの金融緩和・財政出動により株価が上昇し、円安による輸出環境の改善など景気回復の兆しが見えてきています。一方では、これから起きる物価上昇・消費増税・電力値上げ等を見通し、個人消費におきましては生活防衛意識や節約志向が依然として強く、外食産業は厳しい状況が続いております。

このような環境の下で、当社ではサーティワンアイスクリームの永遠の経営モットーであります“ We make people happy. ” 「アイスクリームを通じて人々に幸せを。」をスローガンに、全てのお客様に高品質で美味しいアイスクリームと“ FUN（楽しいこと、嬉しいこと、感動すること）” に満ちたひとときを提供し、日本で最も愛され親しまれるチェーンとなることを目指すとともに、企業の継続的成長の維持と、企業価値の増大に努めてまいりました。

そして、当期は当社創立40周年となります。そこで、これまでのご愛顧に感謝するための様々なプロモーションを企画し、実施してまいりました。

その第一弾として3月30日から6月にかけて「31 ニューフレーバーコンテスト」を実施いたしました。これは当社ホームページ上で新しいフレーバー開発のアイデアを広く消費者へ募る消費者参加型の企画で、予想を上回る7万件以上の応募をいただきました。そして最優秀フレーバー“ホールインワン！”を9月のフレーバー・オブ・ザ・マンズとして全国のサーティワンアイスクリーム・ショップで発売いたしました。

また、店頭においても3月30日から4月26日まで「Get All 31 Flavors! 31種類ひとりじめのチャンス！」を実施いたしました。これは、商品を購入されたお客様に抽選券を400円毎に1枚お渡しし、パソコンまたはモバイルよりプロモーション特設サイトにあるゲームでアタリが出た3,100名様に、キッズサイズのシングルコーン・カップ引換券31枚をプレゼントするインスタント方式のプロモーションです。また、ダブル・チャンスとして、アタリ・ハズレ関係なく抽選券4枚でキッズサイズのシングルコーン・カップ1個をプレゼントいたしました。

さらに、5月10日より40周年を記念したスーベニアカップサンデー2種類を7万個限定で販売いたしました。

そして6月は、サーティワンの魅力を40周年に掛けて、スモール・ダブルと同じ価格でキッズサイズよりやや小さいミニサイズのアイスクリームを4種類選べ、40%増量となる期間限定商品“Happy 4 you”（5月29日～6月28日）を販売いたしました。

これらの40周年プロモーションを実施し、記念イベントを盛り上げ、店舗への来店頻度向上の促進を図りました。

その他のプロモーションについては、1月はアイスクリームの詰め合せ商品であるバラエティパック、ギフトボックス、パーティーボックスをお買い上げのお客様に、「スヌーピー」ハートディッシュをプレゼントするニューイヤープロモーション(1月1日～1月6日)を実施し、フレーバーのバラエティさ・楽しさを訴え、高単価商品の拡販とヘビーユーザーの再来店を促進いたしました。

引き続き冬場のテイクアウト商品として、お求めやすいお得な価格で期間限定の新商品「スヌーピー」ハッピーバッグセット(1月12日～2月15日)を販売いたしました。テイクアウト用保冷バッグやアイスクリームのパッケージも全て「スヌーピー」のデザインとし、消費者の購買意欲を高めました。

3月の「ひなまつり」(2月16日～3月3日)では、“ひなだんかざり”、“おひなさまカップ”、“苺おひなさまカップ”や、ひなまつり仕様のアイスクリームケーキなど期間限定商品を販売し、オケージョン商戦の売上を確保いたしました。

また、苺の美味しさをたっぷり味わえる“フレッシュストロベリーサンデー”(12月26日～3月29日)を販売し、アイスクリーム専門店サーティワンならではのシーズンサンデーを提供することにより、ブランドの差別化を図りました。

3月4日からは、昨年は4月に実施した「ワンダフルイースター」(3月4日～3月29日)を実施いたしました。イースターらしいタマゴをモチーフにしたエッグカップサンデーに新商品ヒヨコエッグを加え、持帰り商品のイースターバラエティBOX、イースターに因んだアイスクリーム2種類(イースターヨーグベリー、イースターエッグハント)や新商品のフルーツミックスを販売し、3月の売上増を図りました。

ゴールデンウィーク期間中(4月27日～5月9日)はダブルコーン・ダブルカップを31%値引きして提供するキャンペーンを実施し、期間中はTVCMで告知いたしました。

5月10日から5月30日は「アイスクリームドリンク・プロモーション」を実施し、4月27日新発売の“ミントチョコオーレ”を含めたアイスクリームドリンク商品をお買い上げのお客様全員に「スヌーピー」6色ボールペンをプレゼントいたしました。

真夏の最盛期には恒例の強力なキャンペーンで、今年8年目となります「真夏の雪だるま大作戦」(6月29日～7月30日、キングサイズのコーン・カップをお買い上げのお客様全員にキッズサイズ1スクープをプレゼント)と、今年で11年目となります大好評の「チャレンジ・ザ・トリプル」(8月1日～8月30日、ダブルコーン・カップをお買い上げのお客様全員に1スクープをプレゼント)を実施し、どちらもTVCMにより強力にキャンペーン告知をいたしました。

また、9月2日～9月8日の期間は31club(モバイル会員クラブ)会員の好意醸成のため、9月1日までに入会された会員限定で、レギュラーコーン・カップをお買い上げいただくとキッズサイズ1スクープをプレゼントする「キッズ1スクーププレゼント!」を実施いたしました。さらに、9月の連休にはダブルコーン・ダブルカップを31%値引きするキャンペーン(9月13日～9月23日)を実施し、TVCMによるキャンペーン告知をしてお客様の来店促進を図りました。

戦略商品のアイスクリームケーキには、4月27日より新商品として人気フレーバー6種または4種のピースケーキを組み合わせたホールケーキ“パレット6”と“パレット4”を投入いたしました。このケーキはカットする手間がなく、気軽に楽しめる新しいアイスクリームケーキです。また、8月には「ディズニー」並びに「スヌーピー」キャラクターを使ったアイスクリームケーキ5種類のリニューアルも実施し、誕生日会やお土産などテイクアウト需要への拡販を図ってまいりました。

新たなコミュニケーション・ツールとして3月1日より公式Facebookページを開設いたしました。消費者と双方向のコミュニケーションが可能なFacebookを活用し、ブランドロイヤリティの醸成と店舗への来店頻度向上へ繋げました。

そして8月27日には公式LINEアカウントを開設し、無料スタンプ・プレゼント(9月10日～10月7日)を実施するなどSNSを活用したバイラル・マーケティングを展開し広告宣伝の強化と効率化を図りました。

なお、5月12日には全国1,087店舗において2時間、募金をしてくださったお客様全員にレギュラー・シングルコーンを1つプレゼントする社会貢献イベント「フリースクープ」(今年で12年目)を実施し、全国で約88万人ものお客様に参加していただきました。お客様よりの募金と、当社からの寄付金を合わせた38,238,140円を、日本赤十字社を通じて東日本大震災被災者への義援金として寄付いたしました。

店舗開発の状況といたしましては、2009年から新しいロゴの看板と店舗デザイン「Hip Hop」を導入し、店舗イメージ刷新を図っております。新しい店舗は当期45店舗開設し、当第3四半期末の店舗数は1,136店舗と前第3四半期末に対して16店舗増加いたしました。改装は当期74店実施し、既存店へも新しい店舗デザインの導入促進をいたしました。

以上の施策を進めてまいりましたが、7月の突発的な豪雨の頻発や9月の連休に台風が日本を直撃するなど天候不順に見舞われ、売上が予想に反して伸びなかったことから、当第3四半期の売上高は159億81百万円(前年同期比0.4%減)となりました。

売上原価は、原材料価格上昇や円安の影響により65億26百万円(前年同期比2.8%増)となりました。

販売費及び一般管理費は、78億67百万円(前年同期比4.2%増)となりました。主な増加要因は、販売強化のための広告宣伝費(1億69百万円)、販売促進費(42百万円)の増加及び業容拡大による人員増に伴う人件費の増加(53百万円)であります。

この結果、営業利益15億88百万円(前年同期比26.1%減)、経常利益16億36百万円(前年同期比25.4%減)となりました。また、四半期純利益は9億37百万円(前年同期比22.7%減)となりました。

なお、当社はアイスクリーム製品の製造及び販売等を行う単一セグメントのため、セグメント情報の記載を省略しております。

## (2)財政状態の分析

当第3四半期末における総資産は前事業年度末に比べ1億95百万円減少の153億51百万円となりました。当第3四半期累計期間では店舗数増加に伴う製品需要増に備えた製品および原材料の増加、新規出店による賃貸店舗用設備、敷金及び保証金の増加や富士小山工場の排水処理設備増強による構築物の増加等がありましたが、9月は前期末12月に比べ売上規模が小さく、これによる売掛金の減少と法人税等の支払い等による現金及び預金の減少があったため総資産は減少いたしました。

負債は前事業年度末に比べ2億60百万円減少の43億57百万円となりました。これは、ショッピングセンター内出店店舗の売上金が当社を經由して加盟店に支払われるため当社が一時的に預かることにより発生した預り金の増加がありましたが、法人税等の支払による未払法人税等の減少があったため負債総額は減少しました。

純資産は前事業年度末に比べ64百万円増加の109億93百万円となりました。これは主に当第3四半期累計期間の四半期純利益が前事業年度の期末配当金の支払額及び当事業年度の中間配当金の支払額を超えたため、繰越利益剰余金が増加したことによるものであります。

## (3)事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期累計期間において、当社が対処すべき課題について重要な変更はありません。

## (4)研究開発活動

当社は、バスキン・ロビンス・フランチャイズド ショップス エルエルシーと“ライセンスおよび技術援助契約”を締結しており、アイスクリーム研究開発については同社で実施しているため、研究開発費は発生しておりません。

(5)主要な設備

当第3四半期累計期間において、新たに確定した重要な設備の新設計画は、以下のとおりであります。

事業所名 (所在地)	設備の内容	投資予定金額		資金調達方法	着手及び完了予定年月	
		総額 (千円)	既支払額 (千円)		着手	完了
神戸三木工場 (兵庫県三木市)	アイスクリーム生産設備	3,200,000	61,740	自己資金	平成26. 1	平成26.12

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	38,003,000
計	38,003,000

###### 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年11月8日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	9,644,554	9,644,554	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数100株
計	9,644,554	9,644,554		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。



## (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年7月1日～ 平成25年9月30日		9,644,554		735,286		241,079

## (6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

## (7) 【議決権の状況】

## 【発行済株式】

平成25年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 8,500		
完全議決権株式(その他)	普通株式 9,634,700	96,347	
単元未満株式	普通株式 1,354		1単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	9,644,554		
総株主の議決権		96,347	

(注) 1 当第3四半期会計期間末日現在の「発行済株式」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成25年6月30日)に基づく株主名簿による記載をしております。

2 「単元未満株式」の欄には、当社所有の自己株式61株が含まれております。

## 【自己株式等】

平成25年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) B - R サーティワン アイスクリーム株式会社	東京都品川区上大崎 三丁目2番1号	8,500		8,500	0.09
計		8,500		8,500	0.09

## 2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1．四半期財務諸表の作成方法について

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第63号)に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期会計期間(平成25年7月1日から平成25年9月30日まで)及び第3四半期累計期間(平成25年1月1日から平成25年9月30日まで)に係る四半期財務諸表について、あらた監査法人による四半期レビューを受けております。

### 3．四半期連結財務諸表について

当社は、子会社がありませんので、四半期連結財務諸表を作成しておりません。

## 1【四半期財務諸表】

## (1)【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,890,270	3,113,060
売掛金	3,062,349	2,870,640
製品	617,193	877,523
原材料	270,247	490,445
貯蔵品	239,569	135,059
前渡金	21,733	25,643
前払費用	146,954	138,306
繰延税金資産	73,914	81,852
未収入金	32,309	93,621
その他	60,803	67,800
貸倒引当金	14,338	10,925
流動資産合計	8,401,007	7,883,028
固定資産		
有形固定資産		
建物	1,867,323	1,942,722
減価償却累計額	1,135,663	1,162,462
建物(純額)	731,659	780,260
構築物	187,899	300,783
減価償却累計額	136,145	139,212
構築物(純額)	51,753	161,571
機械及び装置	2,055,115	2,100,979
減価償却累計額	1,654,181	1,698,083
機械及び装置(純額)	400,933	402,896
賃貸店舗用設備	3,095,969	3,253,087
減価償却累計額	1,591,487	1,709,136
賃貸店舗用設備(純額)	1,504,482	1,543,951
直営店舗用設備	396,461	424,391
減価償却累計額	141,344	161,801
直営店舗用設備(純額)	255,116	262,590
車両運搬具	58,448	66,845
減価償却累計額	24,407	30,126
車両運搬具(純額)	34,041	36,719
工具、器具及び備品	677,409	689,754
減価償却累計額	535,102	578,146
工具、器具及び備品(純額)	142,307	111,607
土地	695,362	695,362
建設仮勘定	64,770	97,655
有形固定資産合計	3,880,428	4,092,615

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年12月31日)	当第3 四半期会計期間 (平成25年9月30日)
<b>無形固定資産</b>		
ソフトウェア	142,306	109,299
電話加入権	17,065	17,065
無形固定資産合計	159,371	126,364
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	32,304	45,827
従業員に対する長期貸付金	10,636	9,722
破産更生債権等	222,744	218,519
長期前払費用	577,965	597,981
繰延税金資産	139,575	135,445
敷金及び保証金	2,178,146	2,296,134
その他	21,538	19,685
貸倒引当金	76,792	74,166
投資その他の資産合計	3,106,119	3,249,148
<b>固定資産合計</b>	<b>7,145,919</b>	<b>7,468,127</b>
<b>資産合計</b>	<b>15,546,926</b>	<b>15,351,156</b>
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
買掛金	380,343	566,088
未払金	1,216,802	1,082,522
未払費用	28,762	30,224
未払法人税等	665,274	31,795
未払消費税等	47,613	25,319
前受金	639,738	566,513
預り金	126,062	437,985
賞与引当金	29,703	101,919
役員賞与引当金	11,000	10,000
その他	34,439	51,675
流動負債合計	3,179,741	2,904,044
<b>固定負債</b>		
退職給付引当金	163,069	169,123
役員退職慰労引当金	77,400	54,591
資産除去債務	85,405	85,395
長期預り保証金	1,111,906	1,144,316
固定負債合計	1,437,782	1,453,425
<b>負債合計</b>	<b>4,617,523</b>	<b>4,357,469</b>

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期会計期間 (平成25年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	735,286	735,286
資本剰余金		
資本準備金	241,079	241,079
資本剰余金合計	241,079	241,079
利益剰余金		
利益準備金	168,676	168,676
その他利益剰余金		
別途積立金	4,140,000	4,140,000
繰越利益剰余金	5,643,589	5,713,361
利益剰余金合計	9,952,266	10,022,038
自己株式	16,893	16,893
株主資本合計	10,911,738	10,981,510
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,125	9,583
繰延ヘッジ損益	15,538	2,592
評価・換算差額等合計	17,664	12,176
純資産合計	10,929,403	10,993,686
負債純資産合計	15,546,926	15,351,156

(2)【四半期損益計算書】  
【第3四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)
売上高	16,042,963	15,981,918
売上原価	6,347,474	6,526,173
売上総利益	9,695,488	9,455,744
販売費及び一般管理費	7,547,935	7,867,666
営業利益	2,147,553	1,588,077
営業外収益		
受取利息	415	365
店舗用什器売却益	55,128	52,513
受取ロイヤリティ	3,545	8,085
その他	4,387	5,301
営業外収益合計	63,477	66,266
営業外費用		
店舗設備除去損	16,566	16,528
その他	1,713	1,136
営業外費用合計	18,280	17,665
経常利益	2,192,750	1,636,678
特別利益		
固定資産売却益	12,760	-
特別利益合計	12,760	-
特別損失		
固定資産売却損	10,544	1,353
固定資産廃棄損	15,260	43,968
特別損失合計	25,805	45,321
税引前四半期純利益	2,179,704	1,591,356
法人税等	967,209	654,345
四半期純利益	1,212,495	937,011

## 【四半期財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

	当第3四半期累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)
税金費用の計算	税金費用については、当事業年度の予想税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

## 【注記事項】

## (四半期損益計算書関係)

前第3四半期累計期間(自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)及び当第3四半期累計期間(自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)

当社では、主として夏季に需要が伸びる製品の製造・販売を行っているため、第2、第3四半期会計期間の販売実績が、他の四半期会計期間に比べて高くなっております。

## (四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)
減価償却費	760,094千円	778,619千円

## (株主資本等関係)

前第3四半期累計期間(自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日)

## 1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年3月23日 定時株主総会	普通株式	385,439	40.0	平成23年12月31日	平成24年3月26日	利益剰余金
平成24年7月23日 取締役会	普通株式	385,439	40.0	平成24年6月30日	平成24年9月4日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第3四半期累計期間(自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)

## 1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年3月22日 定時株主総会	普通株式	481,799	50.0	平成24年12月31日	平成25年3月25日	利益剰余金
平成25年7月26日 取締役会	普通株式	385,439	40.0	平成25年6月30日	平成25年9月3日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

## (セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

当社は、アイスクリーム製品の製造及び販売等を行う単一セグメントのため、記載を省略しております。

## (金融商品関係)

四半期財務諸表等規則第10条の2の規定に基づき、注記を省略しております。

## (有価証券関係)

四半期財務諸表等規則第10条の2の規定に基づき、注記を省略しております。

## (デリバティブ取引関係)

四半期財務諸表等規則第10条の2の規定に基づき、注記を省略しております。

## (持分法損益等)

該当事項はありません。



## (1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	125円83銭	97円24銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	1,212,495	937,011
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	1,212,495	937,011
普通株式の期中平均株式数(株)	9,635,993	9,635,993

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 2 【その他】

平成25年7月26日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、平成25年6月30日の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議し、中間配当を行いました。

- (イ) 中間配当による配当金の総額.....385百万円
- (ロ) 1株当たりの金額.....40円00銭
- (ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日...平成25年9月3日

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年11月8日

B - R サーティワン アイスクリーム株式会社

取締役会 御中

あらた監査法人

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 加藤 真美

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているB - R サーティワン アイスクリーム株式会社の平成25年1月1日から平成25年12月31日までの第41期事業年度の第3四半期会計期間(平成25年7月1日から平成25年9月30日まで)及び第3四半期累計期間(平成25年1月1日から平成25年9月30日まで)に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して四半期財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、B - R サーティワン アイスクリーム株式会社の平成25年9月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. 四半期財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。